



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 22 | Issue 1 | September 2018

今号では...

- ▶02...IBディプロマの結果—2018年7月
- ▶03...ようこそ、新しいスタッフの皆さん
- ▶04...学習奨学金
- ▶05...エレメンタリー・インターン
- ▶06...エレメンタリーSRC
- ▶09...K1で学校生活のスタート
- ▶14...KIST優秀者名簿
- ▶16...KISTオーケストラが徳島へ!
- ▶17...チェンジメーカー・チャレンジ
- ▶19...セカンダリーでの生徒ケア
- ▶20...ハピタット・フォー・ヒューマニティ(HFH)
- ▶25...卒業生大学合格実績

「成功するためだけでなく、価値ある人間になるために努力するのが。」
—Albert Einstein

学校長より

KIST コミュニティメンバーの皆様、

皆さまが楽しく、安息に満ちた夏休みを過ごされ、またKISTでお会いできたことをうれしく思います。

夏休みが明け、一回り大きく成長した生徒たちを新学期に迎えることができたことをうれしく思います。また、保護者説明会で多くの保護者の皆様をお迎えできたことも大きな喜びでした。当日お話をさせていただいた保護者の方は暑さの中体育館で行っていた説明会に比べ、涼しく快適であったと今回の試みを歓迎して下さったようです。他の保護者の皆様との交流やお子さんの担当教員との顔合わせ、昨年度の実績報告をお楽しみいただけたかと思えます。

説明会でもお伝えいたしましたが、2017-18年度の試験等の結果は非常に良いものでした。KISTの学習実績についての詳細は以下、学校ホームページからご覧いただけます：

[Learning > Academic Performance](#)

PYP から DPまで、学校全体で達成した成績・実績は素晴らしいの一言に尽きます。しかし、これまでも強調してきたとおり、この素晴らしい成果は何もしないで突然得られるものではありません。KISTでは、「教育は生徒、保護者、そして学校の協力的体制があって初めて行えるもの」であると考えています。KISTでの実績はコミュニティが協力して築き上げてきた関係性の賜物だと考えます。教職員は非常に熱心な指導を行い、生徒たちは学習に意欲的で、常にベストを尽くしています。そして保護者の皆様は常に最高のサポートを提供して下さっています。KISTがこれまで達成してきたことを熱心にサポートして下さり、誇りに思える学校となるよう常に応援して下さるコミュニティの皆様にご感謝いたします。

今年度最初の *The Comet* をどうぞお楽しみください。また、学校新聞に寄稿して下さったすべての皆さんに大きな感謝をささげます。

皆様のサポートに再度感謝申し上げるとともに、学校に対するご意見やご懸念をご遠慮なく学校にお寄せください。

Jeffrey Jones
Head of School



重要な日程



2018年9月

- 17 School day
- 17 MYP Information session for G6 and new parents
- 22 (G9-G12) KPASS High school drama festival (@YIS)
- 24 School holiday
- 25-26 School photographs
- 25 PYP Information session for new parents (*Evening)

2018年10月

- 4 (G5) Day camp
- 5 SAT@KIST
- 8 School day
- 8 (G1-G5) Field Day
- 10 (G10) PSAT tests
- 11 (G9-G12) KPASS High school brain bowl (@Zama)
- 13 School Explanation Day
- 15 2019-2020 enrollment applications open
- 18 (G6-G8) KPASS Middle school drama festival (@BST)
- 26 KISTival preparation day (K1-G5) No school for students (S) School day
- 27 KISTival 2018
- 28 KISTival clean up day
- 29-Nov 4 Autumn vacation

2018年11月

- 3 SAT@KIST



IBディプロマの結果—2018年7月

夏休み中に2018年度卒業生のIB DP試験結果が発表されました。以下表は2015～2018年のKIST卒業生の成績をおまとめたものです。

年度	KIST G12 卒業生 人数	KIST G12 ディプロマ 受験生	フル DP 受講生 の%*	DP 合格数	DP 合格率*	KIST DP 合格者 平均点	DP 世界 平均	KIST 最高点*
2018	38**	34	89%	34	100%	37.8	29.8	44
2017	37	35	95%	35	100%	38.0	29.9	43
2016	38	37	97%	36	97%	36.6	30.1	43
2015	29	28	97%	26	93%	35.9	30.2	45

* 最高点: 45

** 2018年にフルディプロマを受講した生徒数 34、4名は Certificate を受講し、終了

2018年度卒業生について特にお伝えしたいこと:

- ⇒ 2018年度卒業生38名中34名(～90%)がフルディプロマ・プログラムに在籍。IBの世界平均では、フルディプロマに在籍する生徒は全体の50%程度。
- ⇒ 2年連続で、フルディプロマに在籍した生徒の100%がディプロマを取得(合格)。IB世界平均によると、フルディプロマに在籍する全体の50%の生徒のうち、合格者は80%程度。
- ⇒ IBディプロマを取得したKIST生のDP平均は37.8点でした。これはIBDPの世界平均である29.78点を大きく上回ります。
- ⇒ IBディプロマを取得した生徒のうち47%が40点以上を取得したため、KIST大学進学奨学金の条件に該当します。世界的には、40点以上を取得する生徒は全体の10%以下です。
- ⇒ 1名がKISTの今年度の最高得点である44点を取得、2名が43点、7名が42点、4名が41点、2名が40点を取得しました。
- ⇒ IBDP取得生徒の～50%は6年生に入る前からKISTに在籍しており、1名を除き40点以上を取得した生徒は全員PYP/MYPからKISTに在籍していました。

右記表は教科・コース毎のKIST平均点(IB DP取得者の点数から算出)と、IB世界平均点の比較です。

- ⇒ KISTで提供しているコースの96%でIB世界平均を超えた点数を獲得しています。
- ⇒ コースの88%(緑及び青い部分)においてIB世界平均点を半ポイント以上、上回っています(各コースの最高点は7点)。
- ⇒ コースの48%においてIB世界平均を1点以上、上回っています(青い部分)。

IB DP結果について情報を希望される方は: <http://www.ibo.org/en/programmes/diploma-programme/assessment-and-exams/getting-results/>

コース	レベル	KIST DP コース平均	IB DP 2018 年 世界平均	IB DP 世界 平均との差
English A L&L	HL	5.60	4.99	0.61
	SL	5.43	5.08	0.35
Japanese A L&L	HL	6.67	5.95	0.72
	SL	6.00	5.54	0.46
Japanese Ab initio	SL	7.00	4.98	2.02
	HL	6.86	6.05	0.81
Japanese B	SL	6.86	5.19	1.67
	HL	5.83	5.11	0.72
Economics	SL	5.45	4.68	0.77
	HL	5.00	5.21	-0.21
Geography	SL	5.50	4.81	0.69
	HL	7.00	5.01	1.99
History	SL	5.33	4.54	0.79
	HL	4.83	4.15	0.68
Env Sys & Societies	HL	6.00	4.34	1.66
	SL	5.86	4.22	1.64
Chemistry	HL	6.22	4.45	1.77
	SL	6.17	3.98	2.19
Physics	HL	6.60	4.64	1.96
	SL	6.00	4.05	1.95
Mathematics	Studies	6.58	4.21	2.37
	HL	6.90	4.74	2.16
	SL	6.25	4.26	1.99
Visual Arts	HL	5.17	4.48	0.69

IB ではこのページでDP結果の「統計報告」を発行しています。2018年5月の試験結果に関する統計は10月・11月に発行される予定です。

DP外部試験での生徒の皆さんの成功を称えます。また、G12を担当し、DP平均38点という成果をあげることに貢献してくれた教員の皆さんに感謝します。

John Rose
DP Coordinator



Web IBや、その他統一テストでの生徒の成績についての情報は以下をクリックしてください。
<https://www.kist.ed.jp/ja/node/1152>

ようこそ、新しいスタッフの皆さん



2018-2019年度の新スタッフをご紹介します。KIST/KIPSに新しく加わった仲間をどうか歓迎してください！

教員



Brooke Esper
KIPS P2



Edwin Gombya
MYP I&S /
DP B&M / Economics



Kwang Han
MYP/DP Mathematics



Vincent Huang
MYP Mathematics



Takuto Ikeya
MYP/DP Japanese



Peter Jamal
MYP Science /
DP Chemistry



Andrea Ramos
MYP Science



Ye Ji Yoon
Grade 1

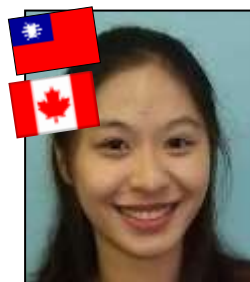
教育サポートスタッフ



Stephanie Anthony-Brown
Teaching Assistant
(K2A)



Nhung Duong
Teaching Assistant
(K2B)



Anita Lee
ELS Instructor
(Secondary)



Mary Odagiri
Teaching Assistant
(Grade 1B)



Derek Rogers
Teaching Assistant
(K3B)

教育サポートスタッフ



Parvathy Shyamprakash
Teaching Assistant
(K3A)



Ioanna Tzedakis
Teaching Assistant
(K1A)

運営部門スタッフ



Miki Kanai
Administrative Assistant
(Secondary)



Mana Niimi
Administrative Assistant
(Elementary)

学習奨学金



KIST Scholars Awards (KIST特待生奨学金)

KIST Scholars Awards は定められた基準を満たしたG8～11を対象としています。本奨学金は学業優秀で、生徒にとって模範となる、学校のミッションを高いレベルで体現し、コミュニティに顕著な貢献を行う生徒を賞するためのもので、4段階に分かれています。

今年度は合計で**9名**がこの奨学金を受賞しました。受賞生、そしてご家族の皆さん、おめでとうございます！

Platinum Award
(授業料を全額免除)
1名

Gold Award
(授業料の75%を免除)
2名

Silver Award
(授業料を半額免除)
4名

Bronze Award
(授業料の25%を免除)
2名

KIST 'Learning for Life' University Scholarships (KIST大学支援奨学金)

KIST 'Learning for Life' University Scholarships はDP最終試験で40点以上を獲得し、受賞基準を満たした12年生に贈られるものです。本奨学金は在籍最終学年での生徒の努力を称え、「生涯学習者」として第3次教育へと進む生徒たちを支援するために設けられました。

2018年度の 'Learning for Life' 奨学金受賞者は合計**16名**です。受賞生、そしてご家族の皆さん、おめでとうございます。皆さんの成功と発展をお祈りします！

Silver Award
43-44 points
¥1,000,000
3名

Bronze Award
40-42 points
¥300,000
13名

Web

学習奨学金の詳細と応募方法については以下をクリックしてください。
<http://www.kist.ed.jp/ja/node/254>

KISTの国籍数

KISTコミュニティには何か国の出身者がいるのかと考えたことはありませんか？今年度、KISTには**42カ国**出身の生徒たちと、**20カ国**出身の教職員が在籍しています。以下からすべての国名を見つけることができますか？

生徒の出身国



スタッフの出身国



エレメンタリースクールニュース

子供の自立心・自主性を養うには

人生の最初の2か月間、乳児は自分の頭を支えることができません。乳児はたいてい生後4か月ごろに寝返りを打ち、9か月くらいで立ち上げることができるといわれています。一方で、馬は生後数分で立ち上がります。ウミガメは生まれてすぐに這うことができ、鷺は生後11週間で飛び立ちます。人間は生まれながらに両親に依存する生き物なのです。

生まれた瞬間から、人間は自立への探求を行わなければならない生き物なのです。人間の乳児は月齢が低い時期から自分で哺乳瓶を持ち、食事をしたりします。親としても、子どもたちの自主性や意欲を促進するように働きかけることが重要です。自主性が育つことで、自尊心が芽生え、自身の失敗やストレスへの耐性も育ち、決断力も養われるのです。

[Parents.com](#) のDiproperzio (2010) は子どもの自主性を養うために保護者が行えるサポート方法をいくつか提案しています。そのうちの一つは子どもに仕事をするをしっかりと時間をとって教えることです。仕事といっても、服をたたんだり、野菜の皮をむいたりといった日常生活の中にあるものです。また、「手伝うのをちょっと控える」のも自主性を養う一つの方法だそうです。Diproperzio はさらに、子どもが自分でできることは決して手伝ってはいけないとも主張しています。

ミシガン州立大学のShrier (2015) は子どもの自主性を養うには、家族が家庭の中でできる仕事や役割を子どもに与えるべきだと強調しています。Shrier は幼い子どもでもごみ捨てや洗濯物の片付けなど、家庭でできる仕事はたくさん

あると述べています。さらに、子ども自身で問題解決に取り組むことの重要性も主張しています。彼女は、保護者は子どもたちが「自身のために戦える」ようにしなければならぬと述べています。子どもたちが自力で争いや問題を解決できる能力は生涯に亘る武器となるものです。



新年度を迎え、子どもたちは新しい学年に進級しました。この機会に子どもたちの自主性をさらに促すことに努めましょう。学校で子どもたちは思考、コミュニケーション、社会性、自己管理のスキルを学びます。子どもたちの自主性を尊重することで、学校で学んだこれらスキルを実生活で応用する機会がより多く与えられることになるのです。



Kevin Yoshihara
Elementary School Principal

参考文献:

- Diproperzio, L. (2010, January 14). *Teaching Your Child Independence*. Retrieved from <https://www.parents.com/toddlers-preschoolers/development/social/teaching-toddler-independence/>
- Shrier, C. (2015, April 28). *Developing independence in children*. Retrieved from http://msue.anr.msu.edu/news/developing_independence_in_children

空手チャンピオン



今年の夏に **Shingen (G2B)** が東京都の空手選手権大会に参加し、彼の学年・年齢部門で優勝しました！ Shingenは今年の冬に東京都よりその栄光を表彰されます。

Shingen おめでとう！

エレメンタリー・インターン



9月初旬にマレーシアのTaylor's University から4人目のインターン生、**Amanda Kok**さんを迎えました。KISTでの6か月のインターン期間中、Ms Amanda はエレメンタリーの生徒たちをサポートします。

私はマレーシアで生まれ、育ちました。私は半分ニョニヤ人で半分中国人です。映画の熱狂的なファンですが、アウトドアも好きです。KISTの皆さんにお会いし、教え、学ぶことを楽しみにしています！」

Ms Amanda を学校コミュニティに温かく迎えてください。

PYPニュース

ようこそ新しい学年へ

九月になっても一向に暑いままですね。最近夏がだんだんと長くなっているようです。この時期になると教員達は学校生活をより良いものにするために、生徒の学習と教育課程に力を入れ始めます。よい結果を出すためには様々な方法とそれに基づく学習のやり方があり、各々の学校では熟練した教育者達が最適な手段と教材を使って生徒個人のニーズにあったやり方を探究しています。

ここKISTエレメンタリーでは私たちは生徒が自分自身で伸びることができるような教育方針をとっています。すなわちKISTでは生徒達は建設的、概念的に学習するのです。建設的な学習者とは、受動的ではなく主体的に学習しようとしている人のことを意味します。ここでは知識は外界や他人から与えられるものではなく、学習者一人一人が外界から得られた情報を理解、解釈して創造的に自分の知識に変えるのです。概念的な学習とは、目的を意識しながら体系的に探求することを意味します。この学習方法は生徒が解釈し理解することを助け、生徒達が意味のあるアイデアを自ら関わるようにする強力な手段です。IBのPYPプログラムに於ける「探求」を使用することで、生徒達が自分で思い描いたアイデアに向き合い、職業やその先の人生で役立つスキル(技能)を得ることを可能にします。生

徒達は根源にある概念的な知識をしっかりと理解できるようになることによって、私達をとり

まく世界に在る問題や糸口を発見して解決策を構築する機会をもち、人生を変えるような解決策を生み出せる能力をもつことができる手立てを獲得することができるのです。

KISTでは生徒に生涯学び続けるような人になっていただきたいと思っています。保護者の方々にこの信念を理解していただくためにPYPについての説明会を9月25日(火)18時から多目的室(Multipurpose Room)で生徒保護者の方、興味を持っていただけた方のために開催することにしました。この機会に是非、お子さんの学習環境について多くのことを知って頂けたら幸いです。

Clay M. Bradley

PYP Coordinator / Elementary School
Vice Principal

This article was translated by Ren (G12B).
この記事は G12B Ren が翻訳しました。



Event "PYP information session for new parents"
9月25日(火) | 6:00 p.m. | MPR

エレメンタリーSRC

私の名前は Kana Furnival です。そして、私はエレメンタリーの生徒ケアコーディネーターです。もしお子さんがKISTの新入生または継続して在籍されるのであれば、私はお子さんのケアを行うことを楽しみにしています。

今年度、私はエレメンタリー代表委員会(ESRC)をリードし、社会的、感情的、そして行動的な分野を含む様々な活動に参加することを目指します。

ESRCの役目は生徒達が学校に対する疑問などに自ら関与するよう後押しをすることです。委員は学校と生徒たちを代表し、言葉や行動を通してリーダーシップの資質を発揮することが期待されています。委員は生徒達の意見を聞き、生徒たちの学校生活のいくつかの側面に責任を負います。ミーティングは普段午前の休み時間に行われています。

このようなリーダーシップを発揮する中で、生徒には成長する機会が与えられます。判断力や、言動に対する責任、そして高められた自尊心は他の生徒達やスタッフに尊敬されることから得られます。

最新のESRCの情報はエレメンタリーオフィス前の掲示

板に掲示されています。



Kana Furnival

Elementary School
Student Care Coordinator

This article was translated by Saki (G10A).
この記事は G10A Saki が翻訳しました。



2018-2019年度ESRCメンバー



Mana (G3A)



Xintong (G3B)



Jessie (G4A)



Mirea (G4B)



Jessica (G5A)



Ewan (G5B)

幼児教育ニュース

昨年度から今年度に向けて変わった点

新入園児の皆様、ご家族の皆様、ご入園おめでとうございます。そして、在園の皆様も進級おめでとうございます。皆様も、私たち職員同様、新しい年をワクワクしながら、一緒に学べることを楽しみにしているでしょうか？

毎年、幼稚園では子ども達にとってより良い教育環境を提供できるよう職員同士話し合いをしております。今年度も何点か変わったことがあります。



K1A 図書の時間



K1B 読書の時間

まず、第一点は、幼稚園に新しく6人のスタッフが配属されました。5人のアシスタントの先生、そして、クラス担任として、Mr Axel先生が小学校部から移動となりました。年少から年長まで合計18人、各クラス3人ずつの教職員となります。この中には幼児教育を専門としているもの、言語学や教育学で修士課程を学んだ者、音楽や体育を得意とする者など、9か国が

ら来ている教員で構成されています。自分たちの周りの世界を学ぶ子ども達にとって、教職員の構成が豊かで、多岐に渡ればわたるほど、より深く学べる環境を与えられることと思っております。

何よりも、私たちのスタッフは子どもを教えることが大好きで、どの教室でも、この3週間の間、笑顔や笑い声が絶えません。

それに付け加え、半数以上の教職員が保護者であり、また、5年以上の教育経験、そして中には10年以上の経験を要する者も何名かいます。

皆さまもご存知のとおり、KISTのカリキュラムは幼稚園より非常にレベルの高いものとなっております。その中で、私達は幼児にとって保護者の方に本を読んでもらえる、喜びのための読書の時間を非常に大切だと思っております。子ども達が本好きになるために私たちにできることは、本をたくさん読んであげることです。好きな人から本を読んでもらえる時間が子ども達は大好きです。KISTでのLiteracyのカリキュラムで、子ども達は英語の音や文字を習うことで、年少児より言葉を読んだり書いたりすることができるようになりますが、意味まで分かるのはまだまだ先のことで、その年齢に適した音読できる本を探すのは大変なことであり、ともすると、子ども達が本を読めるようになったと勘違いをし、自分でどんどん本を読むように勧めることがあります。ご家庭では是非、子ども達に本を読み聞かせ、その内容に関して質問などを繰り返し、話し合っていたきたいと

思います。子ども達はそこから、物事を色々な角度から見たり、考えたりすることができる力が養われていきます。

今年度からは、長期休暇期間も含め、各クラス、幼稚園では宿題ができません。その代わりに、各ご家庭で子ども達にたくさんの本を読み聞かせてあげる時間を設けて頂けたらと思います。



K3A クラスの約束



K3B フォニックス

また、各クラスで月ごとに行われていた誕生会は、それぞれのお子さんの誕生日、当日に保護者の方をお呼びして、お祝いをするにとしました。お誕生日にはお子さんの好きな絵本をクラスにプレゼントして頂けると嬉しいです。それぞれ、誕生日シールを貼り、クラスの絵本コーナーに保管し、クラス全体に読み聞かせをさせてもらう予定です。

次のページに続く

前ページの続き

最後になりましたが、近年、ビフォーケアとアフターケアのサービスはとても人気が高くなっております。それにつれてスタッフを増員しましたが、場所も限られているため、それぞれ、受け入れ人数に上限が設けられています。利用を希望するご家庭の皆さんはファミリーハンドブックにて詳細を確認し申し込みをしてください。

アフターケアご利用の際のおやつは他のおやつ同様、健康的なおやつをお願いします。(ナッツ類はご遠慮ください。)アフターケアのサービスは夕方まで、園庭でほとんどの時間を過ごします。この時期、蚊対策として、たくさんの蚊取り線香と虫よけスプレーを使用しております。十分ではないかもしれませんがどうぞご理解ください。雨天時は、K1からK2クラスとLibraryを交互に使用します。MPR入り口付近に出ています、サインボードでご確認ください。

皆様と素敵な一年を過ごせることを楽しみにしております。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1-K3) /
K1B Teacher



K2A 誕生パーティー



K2B 図書の時間



お子さんにスマホを与える前に、
こちらをクリックして、
この記事を読んでください

(from USA Today - <https://www.usatoday.com/story/tech/news/2017/12/10/read-before-you-give-your-kid-his-her-first-smartphone/901206001/>)

ご存知でしたか？

2018年7月30日にフランスでは学校でのスマホ使用禁止に関する法案が成立しました。生徒たちは学校にスマホを持ち込めますが、電源を切った状態でカバンに入れておかなければなりません。

KISTのことを知って真似をしたのかもしれませんがね？

K1で学校生活のスタート

学校生活第1日目

K1の子どもたちは学校での1日目を教室で先生やクラスメートと一緒に楽しく過ごしました。子どもたちは1日目から水筒やおやつ、タオルなどを正しい場所(バスケット)に入れに行くという大きな仕事を成し遂げました。皆、タオルを壁の所定の位置にかけ、手を洗った後は自分のタオルで拭くという大切な一日の習慣をスタートさせました。自分の cubby (物入れ)を見つけ、カバンを入れることや、用途に合わせて靴を履き替え、靴箱に外履き・上履きを入れることなどを学びました。この日、子どもたちは保護者と一緒に登校し、一緒に教室内に設置された様々なセンター(異なる遊びや活動の拠点)を楽しんでいました。新しい環境に置かれることになるので、子どもたちが涙を見せるのでは、と予想していたのですが、皆ご機嫌で一日を過ごすことができ、初日は大成功に終わりました。

慣らし保育

K1では家庭から学校生活への移行がスムーズなものとなるよう、慣らし保育を行います。子どもたちが午前組と午後組に分かれて登校することで、まずは少人数でクラスの環境になじめるよう配慮されています。第2週目からは全員同じ時間に登校し、お昼ご飯を食べたのちに帰宅します。このプログラムにより、子どもたちがゆっくりと、K1や学校生活になじむことができると考えています。



Claire Yoneyama
K1A Teacher



エレメンタリーELS

探求単位を通して知った専門用語・学術用語を掲示

昨年度はエレメンタリーオフィスの前に“Inquiry is Universal”（探求は普遍のものである）という掲示を行い、生徒たちが探求単位で学んだ単語を英語と、保護者の皆さんのご協力もあり、母国語で貼りだしました。これには非常に多くの学習上の利点が見られたため、今年も掲示を継続します。

KISTに今年度から通われる新入生の保護者の皆さんにも第1言語とともに習得される方が第2言語の発達がよりスムーズであるということをお伝えしたいと思います。また、概念の理解についても自身が有するすべての言語で検討・討論が可能な場合の方がより良く理解できます。KISTの探求単位（UOIs）には素晴らしい概念や、それについて理解し、議論するための高度語彙が含まれています。家庭でUOIについて母国語で話すことにはお子さんにとって計り知れない利点があります。母国語での語彙を増やすことは英語の言葉をよりよく理解することにもつながります。このために、“Inquiry is Universal”の掲示があるのです。今年もG1-G5の生徒たち、そして保護者の皆さんのご協力をいただき、掲示される言葉を増やしていきます。

Rachel Parkinson
Elementary ELS
Coordinator / G5 ELS
Instructor



今年も“Inquiry is Universal”の掲示板は生徒たちの探求が始まるのを待ち構えています。

Inquiry is Universal 掲示板:

昨年のハイライト

- 多くの生徒がUOI単語について家庭で保護者に（母国語で何というのか）質問をした
- 多くのご家庭で子どもたちが学んだ単語の意味について話し合った
- 普段は海外に在住の親戚も母国語での単語習得をサポートし、帰国後も連絡を取り合い、サポートを継続している
- 上級生の多くは様々なバイリンガル辞書・辞典を使用した
- 多くの生徒が他の言語に翻訳する過程で英単語の本当の意味を探求した
- 生徒たちは互いに協力して、英語や母国語での類語を収集した
- 多くの生徒が母国語の重要性を体感し、そのことでUOI単語を学ぶ意欲が増した
- 多くの生徒が保護者と母国語（の文字）を練習した
- 生徒たちはこれまで見たことも聞いたこともなかった言語や文字をクラスメートを通して学び、それぞれの言語学的なつながりに気づいた
- 多くの生徒、保護者、教員が共に学習することを楽しんだ！

保護者の皆さんにご協力いただけること:

1. UOIについて母国語で話し合う
2. お子さんがUOIで学んだ新しい英単語を教えてください
3. お子さんが学んだ単語を母国語で何というのか教えてください
4. お子さんが学校に持ってこれるよう、単語を母国語で書き出す
5. ELSインストラクターが掲示のお手伝いをする

LEAPニュース



皆さん、お帰りなさい！

楽しい夏休みのあとで、新しいご家族や、なじみ深いご家族の皆さんにまた、お会いできて嬉しいです！今年もLEAPコーディネーターとしても2018-19年度LEAPに皆さんのお子さんが参加してくれるのを楽しみにしています。

KISTに初めて入学された方はご存じないと思いますので、簡単にご説明させていただきます。LEAP（学習啓発プログラム）はK3からG5までの生徒に始業前や放課後に提供されている英語と算数のスキル習得をサポートするための学習プログラムです。クラスは生徒が集中して授業に参加し、スキルを習得できるよう少人数で提供されており、教師の推薦や診断テスト結果によって参加が可能となります。

LEAPは、通常のクラスでは学習を難しく感じる生徒に対し、少人数で一步一步スキル習得のためのサポートを提供しているという点でKISTにおける重要な役割を果たしていると考えています。University of SevilleのJane Arnold教授は言語の授業における不安感に関する研究の中で「自身の課題を行う能力に対する考え・自信が実際に課題を遂行するにあたっての努力量に多く影響をもたらす」(784)と結んでいます。生徒たち、特に英語学習者は自信を持つことができると、すべての学習において自信を持って取り組むことができるそうです。そして、私はこれこそLEAPが目指すものだと思っているのです。

重要なお知らせ

- LEAPの授業は9月10日から始まりましたが、今からでも以下リンクからお申込みいただけます <https://kisted.sharepoint.com/CA/SitePages/LEAP.aspx>
- セメスター中、学校行事等の関係でLEAP授業が行われない日があります。 [LEAP Calendar](#) で事前に授業のない日をご確認ください
- 保護者の方にLEAPでの活動やお子さんの進歩についてお知らせするためにセメスターに3回ニュースレターが配布されます。また、エレメンタリーオフィス横のLEAP掲示板に授業の様子を写した写真も張り出されます。



- 始業前英語サポートプログラムへの参加は教師の推薦と診断テスト等のデータ、個々の生徒のニーズを考慮したうえで決定されます
- 放課後算数サポートプログラムへの参加は教師の推薦及び/または診断テストで学年の期待値に到達していなかった生徒に限られます
- 放課後 English Extension Program (英語発展プログラム)への参加は診断テストで学年の期待値に到達、あるいは超えている生徒に限られます

皆さんのサポートに感謝いたします。今年度も皆さんと協力して学習に取り組んでいきたいと願っています！

LEAPについてのご質問は leap@kist.ed.jp までお寄せください。

Katherine Millican

LEAP Coordinator / G1B ELS Instructor



参考文献:

Arnold, Jane. "Seeing through Listening Comprehension Exam Anxiety." *TESOL Quarterly*, vol. 34, no.4, 2000, p.777-786. JSTOR. Web. Aug. 2018.



KIPSニュース



2017-18 P2 卒園式

KIPS “2018年度卒園生”の卒園を祝う会を6

月29日に行いました。KIPSで子どもたちが日々自信をつけ、コミュニケーション能力を磨き、友情を育てているのを見るのは大きな喜びでした。P2の子どもたちは幼稚園生となりましたが、これからもKIPSとここでのお友達や先生のことを覚えていてくれることを願っています。



KIPS P2 “2018年度卒園生” 卒園式

2018-19 年度

新年度が始まりました！ 継続してKIPSに在籍されるご家族も、新しいご家族も、ようこそKIPSへ！ お子さんにとって重要な時期に関わらせていただくことができ非常に光栄に思っています。お子さんが自ら考え、学び、ほかの子どもたちと仲良く順番を守ったり、譲り合ったり、努力することを学ぶことをサポートしていきたいと願っています。子どもたちが失敗をしてもかまわない、学ぶことは楽しい！と学べるよう、私たち大人が環境を調べていきます。

私たち教員と保護者の皆さんが協力することでお子さんの人生に大きな影響を与えることができると確信しています。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。KIPSでお子さん一人一人と過ごす時間は私たちにとってなによりの宝物です。今年も KIPS が皆さんのお子さんにとって成長し、学び、愛される場所となることを心より願っています。



Stephanie Pae
KIPS Coordinator



KIPS スタッフ



P1 の子どもたちと教員



P2 の子どもたちと教員



P2 図工の授業

セカンダリースクールニュース

2018 年度の DP 結果をご覧ください

こちらをクリックするか、ウェブサイトの Learning > Academic performance をご選択ください

2018-19年度へようこそ

お子さんにとって一年の始まりがスムーズなもの、学習を楽しみ、学校生活を快適に感じていることを願っています。この場をお借りして、皆さんに今年度の目標についてお話をさせていただきたいと思えます。

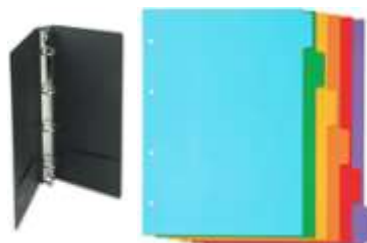
まず、校内ではすべての生徒が常に英語を使用することを求めます。今年は特にこの点に力を入れていきます。エレメンタリーでは生徒たちもこの決まりを守っているのですが、セカンダリーではまだまだ努力が必要です。一例として、英語以外の言語を大きな声で、または繰り返し使用した場合、昼休みに反省文を書くなどの罰則を設けます。もし、お子さんがこのような反省文を持ち帰られた場合はご署名をお願いいたします。また、英語でのコミュニケーションが可能な保護者の皆様にも、校内では英語をご使用いただけるようお願いいたします。



次に、今年からKISTでは課外活動の機会を拡大します。この一環として今年から学校間試合の数を増やしていきます。Kanto Plain Association of Secondary Schools (KPASS) の高校生部門に加盟したほか、11人制サッカーの男子 U14 及び U18、男女 U14 及び U18 クロスカントリー、そして U14 女子バスケットボールを提供します。これらにはすでに多くの生徒が登録してくれています！また、学校オーケストラは順調に発展をつづけており、2018-19年度には、また皆さんにミュージカルをご覧くださいの予定です！



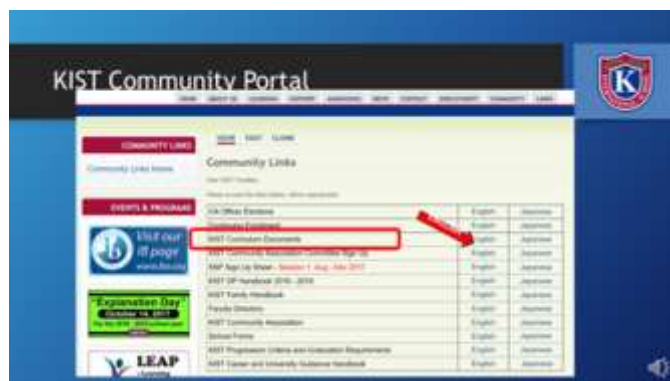
第三に、生徒たちの学習に関して保護者の皆さんのサポートをお願い



いたします。今年はG6～G8の保護者の皆さんにお子さんのホームワークダイアリーに毎週署名していただくとともに、G6およびG7の生徒はノートの整理に特定のバインダーシステムを使用するよう

指示しています。生徒たちにはこの方法を順守するよう指導していますので、保護者の皆さんにもご協力よろしく願います。

また、例年通り、今年もお子さんが各教科でどのような学習を行っているかをご理解いただけるよう、詳細なカリキュラムを更新いたしました。これらは学校ウェブサイトのコミュニティポータルからアクセスいただける Curriculum Documents からご覧いただけます（以下加増をご覧ください）。また、今年も Summative Assessment (包括的評価課題) カレンダーをご提供していますので、保護者の皆さんにはお子さんがいつ大切な課題を提出しなければならないかご確認いただけます。



最後になりますが、セカンダリー保護者説明会にご参加いただいた保護者の皆さんは新しくなった各教室での発表をより快適で、便利にお感じいただけたことと思います。ご質問等ございましたらいつでもご遠慮なく私にご連絡ください。また、昨年ご好評いただいたコーヒーモーニングも10月から再会予定ですので、どうぞお楽しみに。

今年も一緒にKISTで素晴らしい一年を送りましょう！

Mark Cowe
Secondary School Principal



KIST優秀者名簿

セカンダリーでは2017-18年度から**KIST優秀者名簿**を導入しました。この名簿に記載されるには、生徒たちは学業において優秀な成績を収めなければなりません。

優秀者名簿に選ばれた生徒の名前はプレートに刻まれ、KISTの「栄誉の壁」に掲示されます。

選出された生徒と、そのご家族の皆さん、おめでとうございます。



2017-18 KIST Honour Roll

- | | | |
|----------------|---------------|------------------|
| • Heet (G7) | • Ena (G9) | • Khushali (G10) |
| • Saanvi (G7) | • Malini (G9) | • Megu (G10) |
| • Sara (G7) | • Riya (G9) | • Igor (G11) |
| • Tomoko (G7) | • Uri (G9) | • Tom (G11) |
| • Andrew (G8) | • Erika (G10) | • Yohdai (G11) |
| • Kishore (G8) | • Nimit (G10) | • Yuki (G11) |
| • Alia (G9) | • GaOn (G10) | • Gopal (G11) |

また、このほかにも、6月の学年度最後のセカンダリー集会でいくつかの表彰が行われました。受賞者は以下のとおりです。皆さん、本当によく頑張りました。おめでとう！

2017-18 Secondary School Awards

Fine Arts Award (Music) 芸術賞 (音楽)	Harunosuke (G7) Daigo (G8) Sara (G10) Conan (G10)	Fine Arts Award (Visual Art) 芸術賞 (美術)	Elina (G7) Akino (G10)
U14 Outstanding Athlete Award (卓越した運動能力)	Rina (G8) Kaiser (G8) Hugo (G8)	U18 Outstanding Athlete Award (卓越した運動能力)	Karen (G10) Deniz (G9)
Overall Academic Achievement Award 成績優秀者	Ayami (G6) Sara (G7) Hugo (G8) Malini (G9) GaOn (G10) Igor (G11)	IB Learner Profile Award IB 学習者賞	Zoran (G6) Charlotte (G6) Sara (G7) Saanvi (G7) Se Young (G8) Hanna (G8) Riya (G9) Ririka (G9)

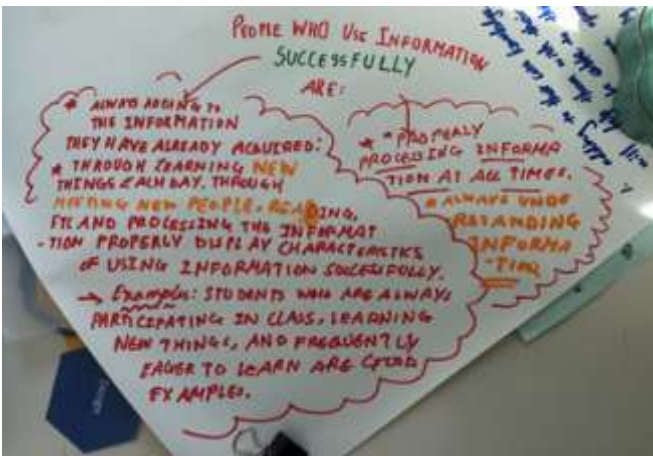
Congratulations!

MYPニュース

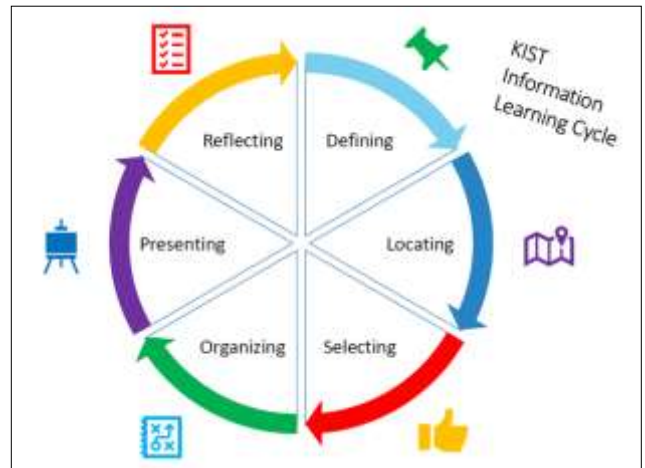
MYP生徒が学ぶ「情報学習サイクル (Information Learning Cycle)」について

まず、MYP生徒たちは、日常生活でどのように情報を取り入れているかを考えることから始めました。これは、「KIST 情報学習サイクル」の第一歩です。

生活の中にある多種多様な情報をうまく活用することは大変重要です。学校においてだけでなく、毎日の生活をより充実させてくれるでしょう。例えば、「情報リテラシー」のカテゴリーには、適切な情報を探し出し評価する能力、そしてその情報を効果的に伝えることなどの項目が含まれています。



生徒たちは、様々な情報を毎日の学習にどう取り入れるべきか、考えを書き出してくれました。



このサイクルがどのような働きをするのかを知ることが、生徒たちの自主的な学習を助けます。

MYPの教師は、カリキュラムの中で生徒たちが情報を使いこなせるよう取り組んでいます。特に、生徒自らが自分自身で題材を探求できるよう指導しています。また、生徒が情報の収集、整理、そして発表ができるよう充実したサポートもあります。

「KIST 情報学習サイクル」を導入することで、リサーチなどの調査を必要とするタスクにも一貫したアプローチができるようになるでしょう。このサイクルを理解することにより、生徒は今までよりも容易に全教科にある関連性を見つけられるようになり、生活の中で多様な情報を有効に活用できるようになるはずで



Robert White
MYP Coordinator

Defining 	Locating 	Selecting
<ul style="list-style-type: none"> ✓ Defining the Information Problem ✓ Identifying my Information Need <ul style="list-style-type: none"> ○ What is my purpose? ○ Why do I need to find this out? ○ What are the key words and ideas in the task? ○ What do I need to do? ○ What do I need to produce? ○ Who is my audience? 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Locating Reliable Sources ✓ Determining the Most Effective Types of Sources for a Task ✓ Evaluating Sources in Relation to the Task <ul style="list-style-type: none"> ○ What do I already know about the topic? ○ What do I still need to find out? ○ What sources and technology can I use? 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Selecting the Best Sources ✓ Engaging with Sources ✓ Selecting the Most Relevant Information Within Sources ✓ Leaving Out Information Not Required <ul style="list-style-type: none"> ○ What do I already know ○ What do I still need to find out? ○ What sources and equipment can I use?
Organizing 	Presenting 	Reflecting
<ul style="list-style-type: none"> ✓ Collecting information in a Suitable Form ✓ Making Connections Among Sources ✓ Preparing information for Presentation, <ul style="list-style-type: none"> ○ Do I have enough information for my purpose? ○ Do I need to use all this information? ○ How can I best combine information from different sources? 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Reviewing Claims for Accuracy and Reliability Before including them in Final Product ✓ Citing all Sources of information, Using APA Conventions ✓ Presenting Information in an Engaging Manner ✓ Considering Purpose, Audience, Task <ul style="list-style-type: none"> ○ What will I do with information? ○ With whom will I share this information? 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Reflecting on the Product for Effectiveness ✓ Reflecting the Process for Efficiency ✓ Considering How Both Could Be Stronger <ul style="list-style-type: none"> ○ Did I fulfill my purpose? ○ How did I do with each step of the process? ○ How did I do with presenting the information? ○ Where do I go from here?

サイクルに含まれている六つの段階一つ一つに、どのようなスキルが関連するかが詳しく書かれています。

KISTオーケストラが徳島へ！

KISTオーケストラに所属するG8からG11の生徒たち8名が8月6日に徳島のStellaインターナショナルスクールを訪問し、3歳から12歳の生徒たちと過ごしてきました。この1泊2日の演奏旅行中、メンバーは小さな子供たちと多くのアクティビティを共に楽しみ多くのことを学びました。

この演奏旅行のために私たちメンバー8人はStellaの生徒たちのためにミュージカル、歌、ダンスに加えプレゼンテーションを準備しました。準備はサマーブレイクが始まる前から始め、出発直前の1週間は毎日5時間もの時間をリハーサルに費やしました。準備したものは、よく知られている映画「となりのトトロ」のテーマ曲、ディズニー作品から2曲、そして大ヒット映画「ハイスクールミュージカル」から2つのダンスです。

個々が音楽の才能を持った私たち8人は、引率のMrs DuranとMr Hondaと一緒にStellaの職員たちが待つ徳島空港へ1時間半かけて行きました。私たちが会うことを心待ちにしていた生徒の多くはStellaインターナショナルスクールの生徒でしたが、中には私たちの演奏を聴くためだけにこのサマープログラムに登録した子供もいるとのことでした。

小さいテーブルと椅子に座りながら、私たちはまずStellaの生徒たちとランチを共にしました。彼らは私たちのことを興味深そうに見ているものの、こちらから話しかけても英語で話すのを恥ずかしがっていました。彼らのほとんどは家では全く英語を話さないとのこと、滑らかな早い英語で話しかけられたり私たちが会話しているのを聞き、少し戸惑っていたと後から聞きました。彼らの英語のレベルを理解するのに少し時間を取りましたが、私たちは徐々に慣れていきました。私たちは彼らに気楽に話しかけてもらいたいと思うと同時に、他のインター校の生徒である私たちとできるだけ多く英語で交流する経験をしてもらいたいと思っていました。

ランチの後、Stellaの生徒たちがダンスを二つ披露し、徳島や徳島の名物などについてが説明してくれました。一生懸命な彼らのその姿はとてかわいく、私たちにとって一番のお出迎えになりました。そのあと私たちは自己紹介をしたのですが、彼らを楽しませるためにクイズ形式にするという工夫もしました。

自己紹介のあとは演奏です。私たちは「となりのトトロ」や「星に願いを」、「アンダー・ザ・シー」などの演奏に加え、ミュージカル「アニー」から「トゥモロー」をStellaの生徒たちと一緒に歌えるよう声掛けをしながら歌いました。最後にKISTオーケストラのコンサートマスターのDaigo (G9A) とメインピアニストのRirika (G10B) がフランク作「バイオリンソナタ」を披露してくれました。演奏後のスナックタイムにはStellaの生徒たちも慣れてくれたようで、日本語を混ぜながらも私たちに話しかけてくれるようになりました。さらに幸運なことに、私たちは彼らと一緒に近くにある「阿波踊りセンター」に行き、徳島伝統の踊り「阿波踊り」を観ることができました。

次の日、私たちはStellaの生徒たちと工芸センターへ行き、徳島では

「遊山箱」と呼ばれ、日本でかつて弁当箱として使われていた木製の重箱の小さいものを作りました。この工作を通じて、Stellaの生徒たちと私たちは歴史や文化を楽しく学ぶことができました。そのあとは私たちのパフォーマンスの時間です。映画「ハイスクールミュージカル」から「Bop to the Top」と「We're All in this Together」を踊り、さらにその会場でStellaの子供たちにこれら2つのダンスの踊り方と歌詞の両方を教えました。しかしStellaの小さい生徒たちには少し難しかったようで、遊山箱を作り終わりランチの前だったことも相まってなかなか覚えることができませんでした。私たちはこのことから、歌や踊りを簡単なものにするだけではなく、子供たちのやる気を高く保ったままにすることが教える時には一番大切だということを学びました。私たちにとっても歌と踊りを60人のおなかをすかせた生徒に教えることはいつもより大変なことでした。それでも東京に帰る前にたくさんのStellaの生徒たちと楽しさを共有できたことはそれだけで徳島に来てよかったと思えました。それはStellaの生徒たちも同じだったようで、ある女の子は「明日もまた来て！」と言ってくれました。

この旅行はただ教師の役目を果たすだけでなく、私たち高学年の生徒たちが低学年の生徒たちから徳島の文化について学べるということでも貴重な体験となりました。私たちは来年の夏もまた再び徳島のStellaインターナショナルスクールへ行けること、そしてできることなら今後もずっとそれが続くことを楽しみにしています。

今回、徳島に行ったオーケストラメンバー、Ushani (G11A)、Thilo (G10B)、Ena (G10B)、Ririka (G10B)、Daigo (G9A)、Satoshi (G9B)、Harunosuke (G8A) そして私 Marlinah (G11A)は、私たちに特別な機会を与えてくれ、このような体験を通して音楽と芸術の表現を教えてくれるMrs Duranに感謝しています。また、計画を実行し、この旅で私たちをサポートしてくれたMr Hondaにも感謝を申し上げます。

Marlinah (G11A)

This article was translated by Daigo (G9A).
この記事は G9A Daigo が翻訳しました。



チェンジメーカー・チャレンジ

Web

私たちのビデオをぜひ観てみてください。
<https://goo.gl/C39icJ>

「チェンジメーカー・プロジェクト」とは、高校生による、社会にとっての問題や課題を解決する方法を発明する企画(プロジェクト)です。まず、「チェンジメーカー・プロジェクト」に入った私たちは世の中の課題などを学ぶための教材を配布された後、各生徒が組んだチームでその特定の問題を解決するためのアイデアを考案します。

そのアイデアを基に発明品のプロトタイプなどを作った後、その発明品のプロトタイプを発明家や慈善家などの前で紹介し、説明する機会を与えられます。私たちがこの企画に参加した理由は、学校での I and S (Humanities) クラスで世界の様々な問題を習ったからです。

世界の様々な課題や問題を学んだり、どの様な解決策に取り組まれているかを知ることはよくありますが、私たちがどうその問題の解決に携われるかは、あまり考えたりはしません。私たちにとってこの企画はまさに「どうその問題の解決に携われるか」という事について答えてくれました。

この企画に参加し、貧困や人権問題などの様々な問題を学び終えた上で、地球温暖化を選択しました。この問題は、プログラミングや電子機器を使用する能力に対してのチャレンジでもありました。私たちのアイデアは、無駄な電力を使用しないことを競争するゲームを開発することでした。21世紀、「ゲーム化」は人類の行動に様々な影響を与えました。なので、私たちは、IoT 機器を用いてゲームを製作しました。

このゲームでは、プレイヤーは電気消費を測る機器を使用して、そのデータはサーバーに送られます。そのデータによって、どれほどの植物の種が仮想現実上の林に生やせるかが定められます。電力消費を抑えるほどプレイヤーは種を植えられ、ほかのプレイヤーと林の大きさを競うことになります。

Shu (G11A)



「チェンジメーカー・プロジェクト」は私たちにとって非常に良い経験になりました。なぜなら、この企画では世界の問題などを学び、それに対する解決方法などを考察したりすることができるからです。勿論、この企画は難しかったですが、様々な世界の問題を知る上で良い経験を味わえたと思います。中でも、この企画で知った衝撃的な事は、食肉消費が地球を温暖化させていると言う事で、この様に、世界の問題や課題などを学ぶ事は新しい体験であり、私たちの企画をさらに加速させる良い起爆剤になりました。

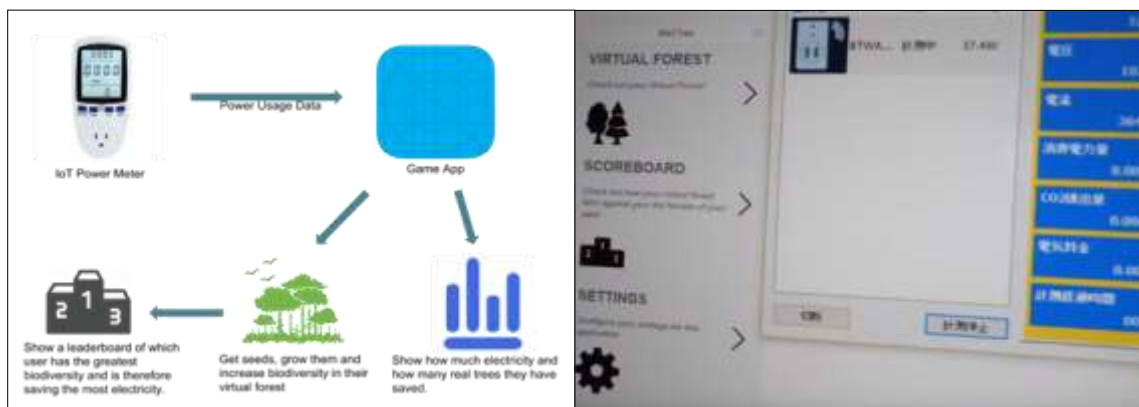
私たちがこの企画で、発明品を説明した時は、非常に不思議な体験でした。なぜなら、私たちの発明品は、電力の過剰消費と言う問題を私たちの才能や、能力で解決する物であったからです。この発明品を発明家などの前で紹介し、説明するのは非常に難しい事でしたが、それと同時に、凄く楽しい事でもありました。なぜなら、私たちのソフトウェアや、ハードウェアを用いてこの発明品は作られたからです。

この企画で世界の問題を学び、発明する事の過程において、電力の過剰消費と言う問題を解決する物を作っている中、私たちはプレゼンや時間管理の能力を向上する事もできました。なので、私は皆さんにもぜひこの「チェンジメーカー・プロジェクト」に参加して、自分たちの才能や能力を用いながら、社会貢献をできる事を祈っています。

Nimit (G11B)



This article was translated by Heizo (G11A).
 この記事は G11A Heizo が翻訳しました。



セカンダリーELS

2018-2019度セカンダリーELSチームのご紹介



私たちセカンダリーELSチーム同様、皆さんも新しい一年への期待が高まっていることを願っています。私の名前はMichael Davignonです。ELSのコーディネーターとして今年もKISTに戻ってきました。

そしてまた、新しくKISTの8年生と10年生の英語と文学を担当するというにもエキサイトしています。今年、Jade BonusとAnita Leeの2人の新しいELS教師を迎えます。2人の新しい教師の着任をを歓迎してください！

Michael Davignon
ELS Coordinator (Secondary)



私は、オーストラリア、メルボルンの出身です。セカンダリーの英語とメディアアートの教師の資格を取得後、教師として日本に移住するという長年の夢を叶え、5年が過ぎました。KISTには2015年からG1のELS教師として、エレメンタリースクールでの素晴らしい3年間を過ごしました。

2018-2019のスクールイヤーで、セカンダリーの教師になることにわくわくしています。ELSの教師として、学問的成功の手助けとなるよう生徒たちとともに励んでいくのを心待ちにしています。



私の名前はAnita Leeといいます。G7とG10のELS教師です。今年、KISTコミュニティに加わることでエキサイトしています。私は台湾で生まれ、カナダ、バンクーバーの美しい土地で育ちました。音楽と言語習得の教師の資格をカナダで取得、日本に来る前は、3年間中国で教えていました。

私はまた23年間の演奏歴がある、プロのヴァイオリン奏者でもあります。私は管弦楽も、室内楽も好きで、ELSの教師としての仕事に加えて今年KISTのオーケストラと演奏することを楽しみにしています。教室や廊下で私に出会ったら、遠慮なく近づいて声をかけてくださいね。皆さんと素晴らしい一年を過ごすのを楽しみにしています。

This article was translated by Emiri (G12B).
この記事は G12B Emiri が翻訳しました。

科学部門ニュース



G12 Chemistry 1A の生徒たち

2018-19も、KISTの科学部門にとって実り多い年になりそうです。G12は科学のIA(内部評価課題)に積極的に取り組んでおり、他の学年も最初の単元に熱心に取り組んでいます。また、新年度は科学部門自体にも新

しい変化をもたらしました。特筆すべきは、海外から2名の新しい科学教員が着任したことです。

Kimberley Biggs
Secondary Subject Area Coordinator—Science



はじめまして、Andrea Ramosです。私はアメリカのコロラド州の出身です。アメリカのモンタナ州にある University of Great Falls で教育及び科学全般で学位を取得しました。卒業後に教職に就くにあたって、家族の近くで暮らしたいと考え、コロラドに戻りました。ですが、すぐに国際的な職に就く事を求めていたことに気づき、グアテマラで3年間教職に就きました。国際教育に携わることは多岐にわたる私の関心や情熱を傾けることにつながります。教えること、旅をし、新しい文化や言語を学ぶことなどです。教育の他にはバスケットボール、ハイキング、スノーボード、読書やクロスフィットが好きです。日本に住んで教えることができることにわくわくしています。KISTファミリーの一員となれたことに感謝しつつ、これからの一年を楽しみにしています。

こんにちは！ Peter Jamal です。地球生まれの地球育ち、家族とともに世界中を回り、生活してきましたので、(多分)旅することは家族に流れる特徴なのでしょう！最初の学位はバイオテクノロジーで取得しました。当時の専門は食品技術でした。その後、学士最終学年に在籍しながら環境化学の Postgraduate Diploma (修士課程の最初の9か月の過程に相当) 取得のため北京に留学しました。最初の修士号は遺伝子工学で、その後、物質科学で2つ目の修士を取得しました。これまで英国とマレーシアの大学とIB校で指導してきました。また、世界中でプロ男子テニスの試合に参加しています。日本では多種多様なテニス選手と交流できるので、非常にうれしく思っています。KISTの一員となれたことは私の人生でも特筆すべきことです、なぜなら、多様な背景を持つ子供たちを教えるという大好きなことができるからです。KISTに在籍する若い世代に私の持てる知識を全て伝えることができるのを楽しみにしています。



新しい居場所でのMs Ramos(左)とMr Jamal(右)

セカンダリーでの生徒ケア

生徒ケアコーディネーターよりご挨拶

KISTでは、生徒ケアコーディネーターが生徒の福利のためにすべてのスタッフとの協力体制を調えます。今年度、セカンダリースクールには2名のコーディネーター：昨年度に続きG6～G8を担当する **Anna Holdaway** と、G9～G12の生徒をサポートする **Evelyn Pang** が配属されています。



2018-19年度のセカンダリー生徒ケアコーディネーター、Ms Evelyn (左)と Ms Holdaway (右)

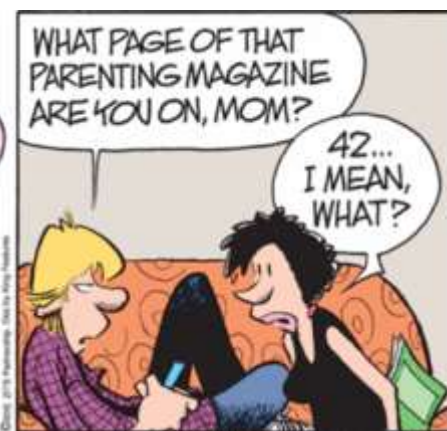


フレンドリーな生徒ケアコーディネーターと話がしたいときは、生徒ケアオフィス (Room 213)を訪ねるか、部屋の外の郵便ボックスに



(名前とクラスを記入した)メモを入れてください。

ピアサポート・リーダー



© Zits | By Jerry Scott and Jim Borgman

「わかってくれる人と話したい！」

これまでの人生で、大人—あまりにも過保護な両親や、教師、校長などとの、思いがうまく伝わらない、ぎくしゃくした会話に覚えがある人も多いと思います。時には自分と同じ立場の、年齢の近い相手と思っていることを共有したいと思うのは自然なことです。自分と同じような経験をした相手と思いを共有し、有益なアドバイスをもらえるかもしれないからです。

KIST Peer Support Leader (PSL) – 積極的にサポートを提供する、同年代の相手がいるグループに参加しませんか。今年度、G9～12の生徒たちがPSLとして学習や思春期特有の問題に直面している同世代の仲間をサポートする機会を設けました。PSLへの指導や研修は Student Care Coordinator (生徒ケアコーディネーター)が提供しますので、PSLは生徒全員にとって安全で安心な環境を効果的に作り出せることでしょう。

PSLに興味があったり、この役目に友人を推薦したいG9～12の生徒は Ms Evelyn に相談してください。Ms Evelyn は Student Care オフィス (213教室) または303教室で皆さんを待っています。

ハビタット・フォー・ヒューマニティ(HFH)



ハビタットとは？

ハビタットとは1976年に発展途上国を助けるために設立された非営利団体です。80カ国からハビタットのメンバーが集まり、東南アジアの貧困による劣悪な住環境に住む家族を住宅支援する活動をしています。KISTでは、2006年からこのボランティア活動に参加しています。



2017-2018 活動要点

平成29～30年度では、カンボジアの首都、プノンペンに住む人たちに家を建設するため、募金活動をしました。これらは、KISTivalでゲームブースの運営、一橋大学で第3文化を持つ子供たち(third culture kids)についてスピーチをすること、様々な会社に足を運びハビタットについてのプレゼンテーションをすることによって企業スポンサーを探すこと、そして AC ミランサッカーアカデミーと協力をし、サッカー教室を開くなど、幅広く学校外でもたくさんの活動をしました。募金活動としては含まれませんが、カンボジアにいる子供たちにスカイプを通して通話をし、言語は伝わらなくても挨拶を交わすことにより仲を深めることができました。

これらの募金活動によって目標としていた200万円を超える金額を集めることができました。協力してくださった企業、そして地域、学校の皆様、誠にありがとうございます。これからもご協力お願い致します。

参加者の声

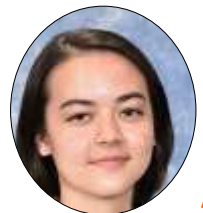
Kevin (G12B)

ハビタットとしてカンボジアに行くことは、とても意味のある経験でした。過去には、貧困で困っている人たちの映像を見たことはあったけれど、実際に現地に行き、自分の目で状況を把握することにより今までとは違う影響を受けました。家がない家族に家を建ててあげ、喜んでもらえる姿を見ることができ、自分たちの達成を誇りに思いました。そして、より良い世界を作るために貢献することができたことを嬉しく思います。



Samantha (G12B)

ハビタットの一員としてカンボジアに行くことにより、たくさんのことを学ぶことができ、その上、スキルを育成させることができました。募金から最終的に旅に行くまでの過程全てがとても意味のある時間でした。今までは、カンボジアに行けることなどないだろうと思っていたけれど、行くことによりたくさんの思い出を作ることができたので行くことを選んでよかったなど感じています。それにより、考え方など、人生を変えるような経験をするので、できるだけたくさんの方にも参加して欲しいと思います。



Tian Wei (G12A)

カンボジアへの旅はとても忘れられない経験となりました。ハビタットの一員として行くことにより、地元の方々の家を自らの手で作ることができた上、カンボジアの文化を感じることができ、この機会を与えてくれたことに感謝しています。気温がとても高く、大変な作業ばかりではあったけれど、ぶつかった壁を壊して行くことができ、参加者全員で一つの目標に向かって頑張れたと感じています。



Varsha (G12A)

ハビタットの旅はとても楽しく、人生の中でも最高の経験となりました。家を建てるだけでなく、家がなかった地元の人たちの人生までも変えることができました。この経験により、カンボジアの文化を学べた上、地元の人たちがどのような課題に直面しているのかも知ることができました。現地に行くことにより、住む家があるということに感謝し、どんなに小さなことに対しても感謝と喜びの気持ちを持たなくてはいけないということに気づかされました。カンボジアに行く機会を与えてくれたハビタットのグループにはとても感謝をしています。



This article was translated by Alia (G10B).
この記事は G10B Alia が翻訳しました。

図書室ニュース



Elementary Library

Genrefication (一般化)



今年はまだエレメンタリー図書室を来室されていない人もいますが、もし、いらしたらその変化にびっくりすると思います！そして、同時にお気に入りの本がこれまでと同じ場所がないことにも気づくと思います。

でも、大丈夫です、お気に入りの本がなくなってしまうわけではありません！図書室ではこれまで作者の名字のアルファベット順に並べていたチャプターブックをジャンル別に配置しています。Rachel Renee Russell と J.K. Rowling の書く物語はジャンルが違うので、別々に配置されていますが、Rachel Renee Russel と Jeff Kinney の物語は同じジャンルなので同じ場所で見つかります。なので、*Dork Diaries* と *Diary of a Wimpy Kid* は隣同士に並んでいますし、*Harry Potter* と *Percy Jackson* も隣同士に置かれています。

ものすごく怖くて眠れなくなるような本を読みたい人はお化けのシールが貼られた本を探してみてください。お化けシールはホラー本の印です。動物が好きな人は肉球シール、楽しいお話を探している人はスマイルシールを探してみてください。これまでお気に入りだったの本が見つからないときは遠慮なく司書の先生に聞いてください。新しいお気に入りも一緒に見つかるかもしれませんよ。

Leslie Ann Hynes
Elementary Librarian



Library Media Center (LMC)

2018-2019年度新着情報

ヤング・アダルトセクション

セカンダリー上級生向きと思われる小説は第2室-LMCの学習室のヤング・アダルトセクションに置いてあります。

グラフィックノベルズ/漫画

大変人気があるため、全年齢層を対象とした漫画を新たに10タイトル購入しました。これらはすべてシリーズものですので、これからも続刊を楽しみにしてください。



雑誌



National Geographic, The Economist, Juxtapoz, Wired, Sports Illustrated for Kids, Popular Science そしてKISTが発行する KISTeens など新刊雑誌がマガジンラックに用意されています。

Personal Project (パーソナルプロジェクト)

昨年度の10年生が大変な努力を傾けて完成させた Personal Project を校内の生徒たちと共有することを親切にも承諾してくれました。昨年プロジェクトからインスピレーションを得たい生徒は自由に閲覧してください。けれども、これは昨年度の10年生の努力の結晶です。取り扱いには十分に注意してください。



Healthcare (健康維持)

図書チームは、生徒ケア部門と連携し、生徒の心身の健康をサポートするための蔵書の拡充に努めてきました。Destiny Discoverで検索していただけるこれらの蔵書は、保護者の皆さんにも貸し出ししております。保護者の皆さんが閲覧を希望される場合、**library team** に事前にお知らせください。

Genrification (一般化)

これまで、小説はすべてアルファベット順に並べられていましたが、これからは生徒が自分のお気に入りの分野から読みたい本を探せるよう、ジャンル別に配置されています。新



しく設けられたSFセクションは大人気です。

More power (電源)



G11 と G12 の生徒たちから、昼休みにLMCでPCを使うと、午後に充電が切れてしまって困るという声が寄せられました。この声に応えるためにコンセント数を増やしました！現時点で生徒が充電に使えるコンセント数が50近くに増えています。



見つかりませんか？

図書チームは全年齢層に対応する素晴らしい蔵書を取り揃えています。しかし、毎月膨大な数の図書が発行されており、どうしても良作を見逃してしまうこともあります。読みたい本が見つからない、図書室においてほしい本があるなどのご要望をどんどん図書チームに寄せてください。お待ちしております。

次のページに続く

前ページの続き

開室時間



自宅ではどうしても兄弟やNetflix、コンピュータゲームなど学習を妨げる要素がたくさんあります。LMCは毎日午前8時から午後4時50分まで開いています。ただし、月曜の午後はスタッフ研修のために早めに閉室する事があります。学習室でのおしゃべりや音の出る行為は原則禁止です。どうしても必要な場合、音量をできるだけ抑えてください。また、集中して学習したい場合、個別の学習室が2つあります。

1対1の図書サポート



LMCはすべてのセカンダリー生に人気の学習スペースです。そのため、Mr Tim と Ms Erika が本来望んでいる形で常に皆さんの質問に答えるのが難しいこともあります。この問題を解決するために金曜日の放課後、**Mr Tim** との20分間の1対1のサポートを予約することができます。リサーチ、プレゼンテーション、参考文献の引用、資料探しなどについて個別に相談することができます。

Ms Erika and Mr Tim



スタッフ10!



今週の Staff 10! では、2012年の8月にK2のアシスタントと、K1、K2のアートインストラクターとして加入した **John McDonough** をご紹介します。また、Mr McDonough は今年からエレメンタリーのK1~G1のPYPアート教員として勤務してくれます。

1) 出身地について面白いことを教えてください。

私の故郷は北ウェールズの海辺のリゾート地、Llandudno (ランディドノー)です。町は海岸に挟まれており、700mの遊歩橋で有名です。この町は「不思議の国のアリス」のモデル(の一部)であるともいわれられており、町の北端にはThe Great Ormeと呼ばれる大鰐に見える山がそびえています。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？

不気味な場所、お化け屋敷が好きです！

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

もうこの世にはいませんが、Stephen Hawking 博士です。私は常に宇宙旅行や人工知能に魅せられてきましたので、一度博士の理論について議論してみたいです。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

鉛筆画より、マウスを使ったデジタル画の方が得意です！

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

渡辺謙さんと映画の一シーンに出たことがあります。

6) あなたにとって一番の宝物は？

漫画のコレクションです。ただ、もう、甥に譲り渡してしまったので、厳密には私のものではないのですが。彼が大切にしてくれているといいのですが…

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。

Principled(道義心・倫理観のある人)でしょうか。ただ、自分ではもう少し**balanced**(バランスの取れた人)である必要を感じています。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

今していることや、周りの人たちを心から愛しているので、他の自分になりたいとは思いません。

9) 自分を高めるために今やっていることは？

最近ピクセル画を学び始め、たった数秒のアニメーション作成に何時間もの時間がかかるということを知りました。

10) ファンに一言お願いします。

はい、「アート・芸術に取り組みましょう！」



Mr John がアートスキルで K2 の子供たちを魅了しています。

2018入学説明会

2019 - 2020年度向け

KISTでは2019 - 2020年度入学希望者を対象とした入学説明会を行います。

アドミニスタフおよび教師が直接皆さまからの様々な質問(入学手続き、カリキュラム、大学進学、その他学校生活全般について)に直接お答えいたします。

また、学校施設の見学もできます。

日時:

October 13, 2018 (Saturday)

セッションは2部制です:

- (1) English: 9:45 a.m. - 12:00 p.m.
- (2) Japanese: 1:15 p.m. - 3:30 p.m.

受付締切は:

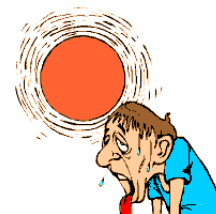
October 12, 2018 (Friday)

要予約です！

www.kist.ed.jp

保健便り

今回 Nurse's Room からは熱中症と結核についてお知らせします。



1. 熱中症について

熱中症とは？

通常、私たちの体温はおよそ36度前後で平熱を維持しています。夏に暑くなると汗をかいて、乾く時に気化熱となって体の表面から熱を空气中に逃がし平熱が保てるように働いています。しかし熱中症は体温の調節機能が上手く働かず体温が上昇、または汗をかいた時に体内の水分や塩分のバランス(電解質)が崩れて起こる重篤な症状です。

熱中症が起こりやすい要因

1) 環境

強い日差し、照り返しが強い、風通しの良くない屋内、エアコンを使用していない部屋、急激に暑くなった日、気温が高い、湿度が高い、風が弱い

2) からだ

乳幼児、高齢者、持病のある方、低栄養状態、寝不足、暑さに体が慣れていない方

3) 行動

激しい運動や慣れない運動、長時間の屋外作業、水分補給がしにくい状況

日常生活での予防対策

- ✓ 屋外では帽子の着用と日焼け止めを使用する
- ✓ 十分な睡眠と食事を取る
- ✓ たとえ喉が渴いていないと感じていても子どもたちに活動前と活動中に十分な水分補給を勧める
- ✓ 子供に熱中症症状が起こっていないか注意して見る
- ✓ 活動中は十分に日陰や涼しい所で休憩する
- ✓ 体に熱がこもる様な感じがしたら直ちに涼しい屋内で休憩し水分補給をはかるよう子供に教える
- ✓ 天気予報などの熱中症情報に気を配る
- ✓ 家では適切にエアコンを使用する
- ✓ また扇風機も室内に熱がこもるのを防ぎます



熱中症の症状と救急処置の方法

	症状	応急処置	その他
レベル1	目眩、ふらつき だるさ、衰弱 冷や汗 口渇 吐き気 手足の無感覚 こむら返りなど筋肉の痛み	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日陰や涼しいエアコンなどのある場所へ移動し休む ✓ 余分な衣服を脱がせる ✓ ウエスト部位など衣服を緩める ✓ 水分補給をはかる(スポーツドリンクや経口補水液など) ✓ 濡れたタオルや水を皮膚に吹きかけ、風を送り気化熱を発生し体の熱を逃がす 	医師の診察を勧める
レベル2	頭痛 高熱 脈と呼吸の増加 嘔吐 混乱 極度の疲労	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上記と同様 ✓ 嘔吐時には水分摂取は避ける 	病院を受診する
レベル3	意識不明 歩行困難 けいれん 支離滅裂 高熱(38度以上) 発作、卒中	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上記と同様 ✓ 意識がはっきりと回復しない限り水分補給は避ける ✓ 太い血管を冷やす。例えば <ul style="list-style-type: none"> ● 首回り ● 鼠径回り(太腿の付け根付近) ● 腋の下 	早急に救急車を呼び、救急蘇生を始める。

前ページの続き

2. 結核についてのお知らせ

近年国内での結核患者が増えており、都内の学校でも結核菌の感染報告がありました。以下に該当される場合は事前に学校への相談、報告と医療機関への受診をお願い致します。

- お子さんや家族で結核の高まん延国に居住歴のある方がいらっしゃる。
- 主な結核の症状: 痰を伴う咳、胸の痛み、倦怠感、微熱といった症状が2週間以上続いている場合初期症状は風邪と似ていますが、長引くのが特徴です。

熱中症、結核、その他お子さんの体調についてご質問等ありましたらお気軽にご連絡下さい。宜しくお願い致します。

Yukiko Yamazaki

School Nurse

yukiko.yamazaki@kist.ed.jp



参考文献:

Heat illness prevention information (Ministry of the Environment, Government of Japan) <http://www.wbgt.env.go.jp/>



KISTの運動部(2018年秋)

KISTコミュニティの皆様にも今年度もお会いできることをうれしく思います。まだまだ非常に暑い日が続きますが、この暑さも生徒たちの運動部参加への熱意の妨げではありません！先週はミドルスクールの男子29名がサッカー部の入部テストを受け、8月25・26日にはセカンダリー生20名がKISTでのバレーボールクリニックに参加しました。KIST運動部の未来は明るいです！！

今年度、KISTはメンバー校として **Kanto Plains リーグ** (関東リーグ)に以下の形で参加します。

- 秋に22名のセカンダリー生が4つのクロスカントリー大会に参加
- 秋にA-Pool ミドルスクール11人制サッカーの試合に参加
- 秋・冬にA-Pool Junior Varsity (G9~11)11人制サッカーの試合に参加
- 春にA-Pool ミドルスクール女子バスケットボールの試合に参加

また、今年も引き続き**ISTAA リーグ**のバレーボール、バスケットボール、フットサル、クロスカントリーの各試合にも参加します。また、今年から ISTAA では春と秋に初めてバドミントンの試合も実施します。

試合時には、KIST コミュニティの皆さんからのサポートを期待しています。ぜひ、Cometsの応援にいらしてください！！

Dennis Ota

Extra-Curricular Clubs and Athletics
Coordinator



クラブがたくさん！

Amazing Art	Dodgeball and Table Tennis	Robotics
Badminton	<u>TEDx</u>	Origami
Band	G3 Basketball	Pixel Art
MS Brain Bowl	G4 Basketball	<u>Rueda / Acroyoga</u>
HS Brain Bowl	G5 Basketball	Sakura Medal Book Club
Card & Board Games	ES Cross Country	Symphony Appreciation Club
Cheerleading	HS MUN	Tabletop games
Chess	MS MUN	Taiko
G3-4 Soccer	Japanese Culture	Olympics
G5 Soccer	Japanese Support	Drama
<u>Karuta</u>	KIDZ Dance	Traditional Music and Folk
Cooking	Orchestra	Yoga
Creative Crafting	K-Tech Lego	

上記は Semester 1 に KIST で提供されるクラブリストです。
クラブを提供してくれている KIST スタッフに感謝します！

KIST保護者会(CA)



新年度にまた皆さんにお会いできてうれしく思います！ KIST Community Association (CA) は学校のミッション、ビジョン、信条に沿った形で、直接生徒の教育環境や福利に貢献する形で、様々なイベントの企画運営、サービス、備品、教材などの提供を通して生徒、保護者、学校との協力関係を維持、サポートしています。

組織の目標を達成するために、CAでは複数の委員会を設け、様々な分野においてサポートを提供しています。これら委員会はKIST生の保護者すべてに参加していただけます。また、委員会が提供するすべての活動に毎回出席する義務もありませんが、できるだけ多くの保護者の皆さんにCA委員会に参加していただくことで、CA活動に親しんでいただけたらと考えています。今年の委員会は以下の5つです。

コミュニケーション&コミュニティ広報委員会

IT委員会 **NEW!**

図書委員会

サービス委員会

生徒イベント委員会



オンラインでの参加申し込みはこちらからお願いいたします [2018-2019 CA Committee Sign-up](#)。皆様の積極的なご参加をお待ちしております！

最後に、2018-19年度のCA役員をご紹介します。

会長



Mika Shindo

副会長



Kishi Kedia

会計



Yukie Itoyanagi

書記



Noriko Nogami

委員会への参加をご希望の場合や、CAについてもっとよくお知りになりたい方は、ca.officers@family.kist.ed.jp からCA役員にお問い合わせください。

CA Officers



大学ガイダンスニュース

2018年度卒業生 合格大学と進学先

今年もKISTの卒業生は素晴らしい大学進学実績を更新しました。今年のハイライトの一部をご紹介します。

- 進学先の国別第一位は日本で、11人が今秋から入学します。二番目に多いのは9人が進学するイギリスです。
- 今年は北米の大学に出願した生徒が少なく、4人がアメリカの大学へ進学し、カナダの大学に進学するのは1人でした。
- 特筆すべきは、KISTから初めて韓国の最難関科学技術系大学、KAISTに進学する生徒が出たことです。全額奨学金(返済不要)付きです。
- また、ホテルマネジメントとホスピタリティ専門大学として世界的に知られているスイスの名門ローザンヌホテルスクールにKISTから初めて進学しました。
- また、進学先としてノルウェイを選んだ生徒が初めて出ました。

卒業後に出願した韓国の難関大学からの合格通知を待っている生徒や、医学部を含め来年4月入学の日本の大学に出願する生徒も数名います。

2018年度卒業生の合格、進学先大学リストは次のページを御覧ください。2018年度卒業生おめでとう！大学での成功と将来の活躍を祈っています。

芝浦工業大学 夏のインターンシップ

毎年恒例になった芝浦工業大学でのインターナショナルスクールの生徒を対象にした2週間のインターンシップに今年もKISTから4名の生徒が応募し、参加しました。現在12年生の Yuki (G12B) と Tom (G12B)、現在11年生の Lilya (G11A) と Erika (G11B) は、それぞれの関心のある分野の研究室で独自のプロジェクトを行い、修了しました。また最終発表会で Erika はベストプレゼンター賞を獲得しました。おめでとう！



Yuki



Tom



Lilya

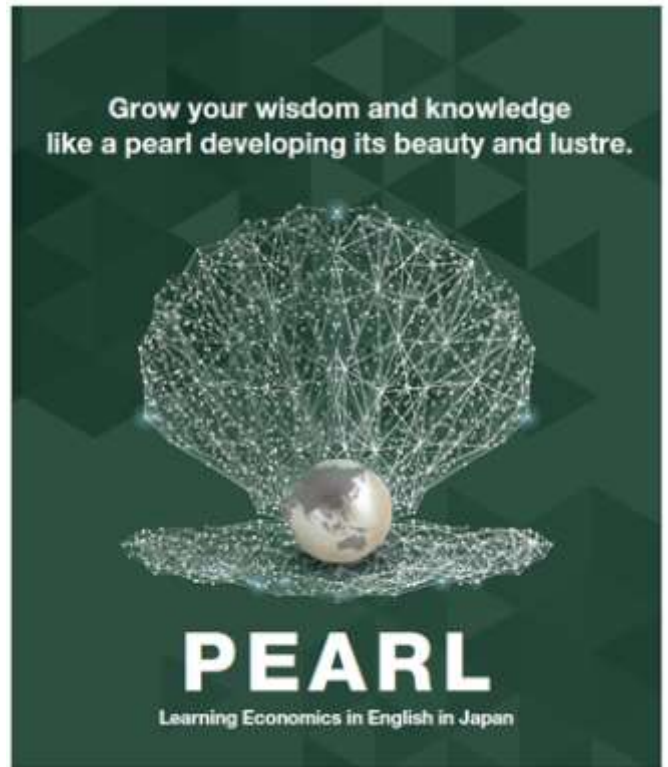


Erika

Raj (2016) が慶應義塾大学経済学部 PEARL のパンフレットに載りました

とても嬉しいニュースです。8月に行われた慶應義塾大学経済学部 PEARL の説明会で配布された新しいパンフレットに見覚えのある顔を見つけました。Raj (KIST Class of

2016) が PEARL の現役学生のひとりとしてこのプログラムについてのコメントを寄せています(写真参照)。



PEARL is a platform through which students will learn, interact and work with a diverse background of students and professors from various fields. It gives a chance to look at concepts and details of the world through an international perspective and lets us explore a number of subjects beyond one's expectations. Here, is where theory can be put into practice.

彼は大学生活の様子をニューズレターに寄稿してくれています。[The Comet 2018年3月号](#) (ページ35)を御覧ください。

大学進学関係のイベント情報

秋は大学進学関係のイベントがたくさん開催されます。KISTでの説明会、東京地区での大学フェアや説明会のスケジュールや情報は[University Guidance Calendar](#)を御覧ください。

Mrs Keiko Okude

Career and University Guidance Counselor
Office hours: Mon, Tue, Thu, Fri 10:00-17:00
keiko.okude@kist.ed.jp



卒業生大学合格実績

KIST 2018年度卒業生

()=合格生徒数 | (★)=奨学金付き合格
#=2018年秋入学 | 2018年8月24日時点のもの

イギリス

Durham University
Goldsmiths, University of London
Imperial College London (3) (1#)
King's College London (4)
Leeds Art University (1#)
London School of Economics (1#)
Queen Mary, University of London (2) (1#)
St George's, University of London (2)
University of Birmingham
University of Bristol (2)
University College London (10) (3#)
University of East Anglia (1#)
University of Edinburgh (1#)
University of Essex
University of Exeter
University of Kent
University of Leeds (2)
University of Manchester (2)
University of Nottingham (3)
University of St. Andrews (2) (1#)
University of Southampton
University of Sussex
University of Warwick (3)
University of York

オランダ

Amsterdam University College (1#)
University College Groningen
University College Maastricht
University College Utrecht

ノルウェイ

Alfaskolen (1#)

スイス

École Hôtelière de Lausanne (1#)
Les Roches

アメリカ合衆国

Arizona State University (1#) (★)
Boston University
Indiana University Bloomington (1#)
Purdue University (1#)
School of Visual Arts
Otis College of Art and Design
Ringling College of Art and Design
Tulane University
UC Davis (1#)

UC San Diego (3)
University of Illinois, Urbana-Champaign
University of Maryland
University of Washington Seattle
University of Wisconsin Madison

カナダ

University of British Columbia (★)
University of Toronto
York University (1#)

日本

Hosei University GIS
International Christian University (ICU) (6) (5#)
Keio University PEARL (1#)
Meiji Gakuin University
Osaka University
Ritsumeikan Asia Pacific University (3#)
Sophia University (3)
Waseda University School of Fundamental Science
and Engineering
Waseda University School of International Liberal
Studies (2) (2#)
Waseda University School of Political Science and
Economics

香港

The Hong Kong University of Technology and
Science (3★) (1#★)
The University of Hong Kong (3)

韓国

Korea Advanced Institute of Science and Technology
(KAIST) (1#★)

中国

The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen (★)

